

平成29年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特1		学校名	県立盲学校						学校長名	村山 亮							
教頭名	石上 智子						事務長名	小池 孝										
教職員数	教諭	48	養護教諭	1	常勤講師	9	非常勤講師等	4	実習教諭 実習助手等	6	寄宿舎 指導員	16	事務職員	4	技術職員等	13	計	101
幼児・ 児童・ 生徒数	部		1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	幼稚部					2									0	2	1	
	小学部		1	1	1	1	1	1	1	3	1			1	5	7	6	
	中学部		2			2	2	1							4	3	4	
	高等部	本科	普通科		1	2		4	1						6	2	3	
			保健医療科		1		1										2	2
		専攻科	保健医療科	4	1	3	1	2	1							9	3	3
理療科			3	2	1			2							4	4	3	

2 目指す学校像

- ◆ 安全・安心な学校
- ◆ 生きる力を育てる学校
- ◆ 明るく活力のある学校
- ◆ 保護者・地域から信頼される学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習指導	<p>視覚障害教育に関する高い専門性とその継承が必要であり、研修の充実に努めている。専門性向上の研修は、年間をとおして計画的に実施している。また、各部、各教科の課題に応じ、授業研究に取り組んでいる。</p> <p>幼児児童生徒の実態が重度化、重複化、多様化傾向にあり、指導内容の工夫や幼・小・中・高等部の一貫した教育のさらなる充実が求められている。</p>	<p>研修内容を工夫し、さらなる専門性向上に努める。また、タブレット端末を活用した効果的な実践について研修を深めていく。学校全体で授業研究に取り組み、自立活動と各教科との指導の関連を整理し、教師の指導力向上を推進する。</p> <p>個別の教育支援計画、個別の指導計画等の様式を見直し、合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫を図る。また、安全・安心の視点で学習環境の改善を図る。</p>
生徒指導	<p>児童生徒が徒歩や公共交通機関を利用し、安全に登下校できるように、通学指導にあたっている。不審者やその他の情報について、メール配信により児童生徒や保護者に知らせ、注意を促している。</p> <p>いじめ防止対策委員会、いじめアンケート等を実施し、未然防止・早期発見・解決に取り組んでいる。</p> <p>生徒会関連の各行事の運営など、生徒が自主的に取り組めるよう指導し、活動の充実を図っている。</p>	<p>学校周辺や通学路の安全マップを作成し、児童生徒の危険回避能力を高める。</p> <p>いじめの未然防止や早期発見に取り組む体制を強化する。また、児童生徒の実態に即したチェック項目やアンケート内容の見直しと継続的な実施を進める。</p> <p>文化祭や周年記念事業等で、生徒が準備・計画・運営を主体的に進めることができるよう指導・支援を工夫する。</p>
進路指導	<p>県内特別支援学校、関東地区盲学校進路指導部、職業安定所等の関係機関との情報交換や連携に努め、生徒の実態や希望に添った職場開拓や進路先決定、卒業生支援に努めている。</p> <p>進路だよりの発行や進路に関する講演会を開催し、児童生徒や保護者に対し理解推進を図っている。また、保護者会や面談においても、理解推進を行っている。</p>	<p>各部間で系統性のある進路指導を推進する。視覚障害に対する事業所等への理解推進を図り進路の選択肢を広げるとともに、職域開拓を継続して進める。</p> <p>児童生徒や保護者のニーズに合った進路だよりの発行や講演会を企画し、理解推進を充実させる。</p> <p>卒業生への追指導ができるよう指導体制を整える。</p>
センター的役割	<p>視覚障害教育支援センターを独立した部として位置付け、特別支援教育のセンター的機能のさらなる充実を図っている。</p> <p>サテライト教室、早期教育相談、通級指導教室、定期学習支援、巡回教育相談等を実施している。</p> <p>学校公開、地域巡回相談会、研修会等を実施し、視覚障害に関する理解推進や関係機関との連携を図っている。</p>	<p>関係機関との連携や研修会への参加、教材・教具に関する情報提供等を積極的に行い、視覚障害教育の理解推進を図る。また、広報活動を充実させ活気ある活動につなげる。</p> <p>関係機関主催の支援会議や研修会への参加をベースに地域とのネットワークづくりを推進する。</p>

4 中期的目標

- 1 一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行うための、指導体制、指導方法、指導内容の工夫及び研究に努める。
- 2 健康な身体や豊かな心を育成するための、健康増進や体力向上、自然体験、社会体験を通じた豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- 3 地域や関係機関等のニーズに応じたセンター的機能を発揮するための専門性の向上（校内研修の充実）に努める。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標	
安全・安心な学校づくり	幼稚部	環境整備に努め、安全な保育をするとともに、安心して登校できるよう保護者との連携を深める。
	小学部	教室環境整備や壁面構成を工夫し、また安全点検を徹底することで児童が心身ともに安心して楽しく活動できる環境づくりに努める。
	中学部	学習環境や生徒の使用する教材・教具の整備とともに、生徒同士の人間関係の変化等への配慮をととして、安全かつ安心して学校生活を送れるようにする。
	高等部	生徒一人一人の障害の程度や実態を鑑みた学習環境並びに教室環境等を整え、それぞれが目標に向かって励むことのできる支援の充実に努める。
	寄宿舎	寄宿舎内外の定期的な安全点検や具体的な状況を想定した避難訓練を実施し、安全で安全な寄宿舎生活ができるように努める。
教科等の授業力向上	幼稚部	学校生活全体をととして、体験活動を重視した保育活動を取り入れたり、人との関わりの場を設定したりする。
	小学部	実態把握とともに年間指導計画・個別の指導計画を作成・共通理解を図り、個々の特性に配慮した教材・教具・手立てを工夫するとともに、評価・改善を行うことで、授業力の向上を図る。

	<p>中学部</p> <p>教科等の専門性，障害特性に基づいた教材・教具の作成・工夫に努め，効果的に活用しながら授業を行う。</p>
	<p>高等部</p> <p>教科会の充実に努め，各教科における特性を踏まえた指導法を継承しつつ，生徒一人一人の学び方の意識した指導に努める。</p>
<p>自立活動の指導に関する専門性の向上</p>	<p>幼稚部</p> <p>日々の学校生活の様子や検査から個々の実態を適切に把握し，発達段階や視力に合わせた教材・教具の工夫に努める。</p>
	<p>小学部</p> <p>一人一人のニーズに応じた教育を行うため，視覚障害児童に関する実態把握の方法について工夫するとともに，個々の課題を的確に把握し，実態に合わせた指導方法・指導内容について情報交換を行い，確実な習得に努める。</p>
	<p>中学部</p> <p>生徒の障害の状態、課題，指導方法等についてのケース会議を定期的に行い，学部教員の共通理解のもと指導を行う。</p>
	<p>高等部</p> <p>定期的なケース会議や校外での研修会参加者の伝達と校内研修を定期的実施し，生徒一人一人の将来を見据えたニーズに応じた支援に努める。</p>
<p>キャリア教育の視点に立った指導の充実</p>	<p>幼稚部</p> <p>学校生活の中で，場に応じたあいさつや当番活動ができるようにするとともに，校内外の活動をととして社会にはいろいろな仕事があることに気付けるようにする。</p>
	<p>小学部</p> <p>低学年では教師の支援を受けながら自分の役割を理解し取り組むことができるよう，高学年ではそれらに主体的に取り組むことができるよう，発達段階に応じた指導支援の工夫に努める。</p>
	<p>中学部</p> <p>体験的な活動を積極的に取り入れ，コミュニケーション能力や生活力の向上，行動範囲の拡大を図る。</p>
	<p>高等部</p> <p>将来への見通しを具体的に考えられるよう，様々なニーズに対応した進路に関する情報収集と発信を行いながら，生徒の課題を明確にした上での各領域・教科の指導に努める。 普通科では，課題解決能力を高められるような様々な体験活動を積極的に設定する。 療科では，高等部木補湯のほか，校内・校外臨書実習の充実に努める。</p>
<p>早期教育，通級指導教室の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の教育支援計画や個別の指導計画の充実に努め，乳幼児一人一人に合った支援や保護者への援助を行う。 ・ 関係機関と連携し養育支援，就学支援の強化に努める。 ・ 在籍校と連携しながら，支援の充実に努めるとともに，在籍校への情報提供に努める。

<p>小中学校等への積極的な支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談を積極的に実施し，センター的機能の充実を図る。 ・巡回相談や在籍校訪問をとおして，校内支援体制に関する助言や支援を行う。 ・専門家と連携しながら環境整備等の助言指導を行い，小中学校等の支援に努める。 ・各地域に出向き，相談支援や教材教具，補助具等の情報提供を行う。
<p>外部への情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開，オープンスクール等による理解啓発に努める。 ・リーフレットやDVDを活用して茨城県全区へ情報発信を行う。 ・PTA，親の会，同窓会等と連携した活動を行う。